

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月13日

東・福

上場会社名 FIG株式会社 上場取引所  
 コード番号 4392 URL http://www.figinc.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 雄司  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 岐部 和久 (TEL) 097-576-8730  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,821	15.0	△194	—	△163	—	△315	—
2019年12月期第3四半期	6,799	10.3	97	△65.3	129	△59.8	40	△68.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △293百万円( —%) 2019年12月期第3四半期 78百万円( △57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△10.92	—
2019年12月期第3四半期	1.45	1.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	14,631	7,710	51.8
2019年12月期	13,177	8,002	59.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 7,573百万円 2019年12月期 7,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	5.2	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	31,084,515株	2019年12月期	31,084,515株
2020年12月期3Q	1,918,200株	2019年12月期	2,318,168株
2020年12月期3Q	28,890,418株	2019年12月期3Q	27,986,690株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社の四半期連結財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの第3四半期累計期間の業績については、主力の情報通信事業においては新型コロナウイルス禍においても好調を維持しているものの、装置等関連事業が想定以上に悪化しております。

装置等関連事業については、米中貿易摩擦の長期化に加えて新型コロナウイルスの感染拡大による影響など、主力の自動車関連にて設備投資計画の見直しにより、受注案件の減少による売上高不足と価格競争の激化により利益面が悪化しております。また、5GやAI、IoTなどの需要が見込まれる新分野の開拓においても、初期開発段階での赤字案件が発生しております。装置等関連事業については、足元では期ズレした案件も動きはじめており、また新分野における初期開発段階も終了したことから、翌連結会計年度からの業績回復を想定しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,821百万円（前年同期比15.0%増）、営業損失は194百万円（前年同期は97百万円の営業利益）、経常損失は163百万円（前年同期は129百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は315百万円（前年同期は40百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①情報通信事業

外部顧客への売上高は4,859百万円（前年同期比44.5%増）、営業利益は629百万円（同91.4%増）となりました。

#### ②装置等関連事業

外部顧客への売上高は2,961百万円（前年同期比13.8%減）、営業損失は480百万円（前年同期は71百万円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、14,631百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,454百万円増加しました。これは主に現金及び預金が418百万円減少したものの、有形固定資産その他が858百万円増加したこと及びのれんが359百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、6,921百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,746百万円増加しました。これは主に未払消費税等が117百万円減少したものの、短期借入金が422百万円増加したこと及び長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、7,710百万円となり、前連結会計年度末と比べ291百万円減少しました。これは主に退職給付に係る調整累計額が61百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が459百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,050	1,631
受取手形及び売掛金	2,798	2,770
リース投資資産	1,652	1,940
たな卸資産	1,778	1,847
その他	171	276
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	8,450	8,462
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,440	1,709
その他(純額)	1,675	2,534
有形固定資産合計	3,116	4,244
無形固定資産		
のれん	63	422
その他	447	473
無形固定資産合計	510	896
投資その他の資産		
投資有価証券	712	556
退職給付に係る資産	119	114
繰延税金資産	147	172
その他	136	201
貸倒引当金	△16	△15
投資その他の資産合計	1,099	1,028
固定資産合計	4,726	6,169
資産合計	13,177	14,631
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,114	1,055
短期借入金	300	722
1年内償還予定の社債	16	16
1年内返済予定の長期借入金	496	669
未払法人税等	71	219
未払消費税等	151	34
賞与引当金	49	213
製品保証引当金	30	21
その他	566	445
流動負債合計	2,796	3,399
固定負債		
社債	350	341
長期借入金	1,782	2,871
役員退職慰労引当金	75	77
退職給付に係る負債	85	103
繰延税金負債	52	104
その他	32	22
固定負債合計	2,378	3,521
負債合計	5,175	6,921
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	3,841	3,839
利益剰余金	2,714	2,254
自己株式	△570	△455
株主資本合計	7,985	7,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△44
為替換算調整勘定	△3	0
退職給付に係る調整累計額	△82	△21
その他の包括利益累計額合計	△90	△65
新株予約権	106	121
非支配株主持分	—	15
純資産合計	8,002	7,710
負債純資産合計	13,177	14,631

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,799	7,821
売上原価	5,171	6,072
売上総利益	1,628	1,748
販売費及び一般管理費	1,530	1,942
営業利益又は営業損失(△)	97	△194
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	7	7
補助金収入	18	58
貸倒引当金戻入額	11	—
その他	4	6
営業外収益合計	46	75
営業外費用		
支払利息	10	19
固定資産除却損	3	15
その他	0	9
営業外費用合計	14	44
経常利益又は経常損失(△)	129	△163
特別利益		
保険解約返戻金	46	—
特別利益合計	46	—
特別損失		
投資有価証券評価損	31	—
段階取得に係る差損	—	10
特別損失合計	31	10
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	144	△174
法人税、住民税及び事業税	147	180
法人税等調整額	△44	△33
法人税等合計	103	146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40	△320
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40	△315

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40	△320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△39
為替換算調整勘定	△1	6
退職給付に係る調整額	35	61
その他の包括利益合計	37	27
四半期包括利益	78	△293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78	△290
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月25日 定時株主総会	普通株式	155	5.00	2018年12月31日	2019年3月26日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	155	5.00	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## (追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限、不要不急の外出やイベントの自粛要請等により、当社グループの情報通信事業においては、サービス提供先であるバスやタクシーの需要減少及び宿泊需要減少の影響を受けております。また、装置等関連事業においても、自動車関連産業の生産調整等の影響により、納品及び検収の遅延や商談の延期が発生しております。

この状況は今後も一定程度継続するものと仮定しており、翌連結会計年度にかけて緩やかに回復していくものと想定しております。当第3四半期連結累計期間における会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計の適用等)についてはこの仮定を加味した予測数値により実施しております。

当社グループは、情報通信事業においてバスやタクシー事業者向け及びホテル事業者向けのサービスを展開しており、定額制システム利用の契約は順調に拡大しているものの、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。また、装置等関連事業においても、商談の延期や、顧客の受入検査体制次第では納品及び検収時期に影響を及ぼす可能性があります。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,364	3,435	6,799	—	6,799
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	45	45	△45	—
計	3,364	3,480	6,845	△45	6,799
セグメント利益	328	71	400	△303	97

(注) 1. セグメント利益の調整額△303百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△303百万円であります。なお、全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,859	2,961	7,821	—	7,821
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	66	66	△66	—
計	4,859	3,027	7,887	△66	7,821
セグメント利益又は損失(△)	629	△480	148	△343	△194

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△343百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間にInfoTrack Telematics Pte. Ltd及び同社の子会社であるInfoTrack Telematics Pvt. Ltdを連結の範囲に含めており、当第3四半期連結会計期間に株式会社プライムキャストを連結の範囲に含めております。これに伴い、「情報通信事業」のセグメントにおいて、のれんが392百万円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

当社は、2020年6月22日開催の取締役会において、株式会社プライムキャスト（以下、「プライムキャスト」という。）の株式を取得し完全子会社化することを決議し、2020年7月8日付で当社の子会社となりました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社プライムキャスト

事業の内容 物流向けシステム及びバーチャルリアリティシステム関連ソリューションの開発

## (2) 企業結合を行った主な理由

プライムキャストは、物流システムの受託開発を中心に、化学・医療・アミューズメント等の幅広い情報システムの設計開発から保守運用サービス、バーチャルリアリティシステムの開発やそれらに付随するコンテンツ設計を手掛けております。

今後、5Gによる通信インフラの発展や各種IoTサービスの拡大が加速すると予想される中、プライムキャストを当社グループに迎え入れることにより、物流・タクシー・バス事業者向けの音声・動態サービスやホテル事業者向けのマルチメディアシステムなどの月額サービス契約数が20万件を突破した当社グループの顧客基盤に対するコンテンツ開発を強化し、顧客基盤とストック型ビジネスの拡大につなげていくことが目的であります。

## (3) 企業結合日

株式取得日 2020年7月8日

みなし取得日 2020年7月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金及び預金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

株式取得により取得した議決権比率 100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が株式取得によりプライムキャストの議決権の100%を取得し、完全子会社化したことによるものであります。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年7月1日から2020年9月30日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式譲渡契約の定めにより、当社は秘密保持義務を負っていることから非公開とさせていただきます。

## 4. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

該当事項はありません。

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん金額

178百万円

## (2) 発生原因

取得原価が企業結合時の被取得企業の時価純資産総額を上回ったことによるものであります。

## (3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

## (1) 資産の額

流動資産	349百万円
固定資産	194百万円
資産合計	543百万円

## (2) 負債の額

流動負債	111百万円
固定負債	44百万円
負債合計	155百万円